

緑のしるべ

～ミニ情報～

平成29年3月21日 発行
〒300-0504 稲敷市江戸崎甲541
Tel:029-892-2934
稲敷地域農業改良普及センター



稲敷地域の農産物でランチビュッフェ



2月17日（金）、シャトーカミヤ ラ・テラス・ドウ・オエノン（牛久市）で稲敷地域アグリビジネスフェア「USHIKU CAFÉ」を開催しました。消費者に向けて、稲敷地域の豊富な農産物のPRと茨城をたべよう運動の推進を目的とし、牛久市をはじめ近隣の市町村から76名の消費者が参加しました。

ランチビュッフェの前には、料理研究家の岡野沙織氏より、稲敷地域の農産物の魅力と料理への活用についてお話頂きました。また、市町村ごとにブースを設け、各々が農産品、加工品の販売を実施し、試食などもあり非常に盛況でした。

次回は5月19日、龍ヶ崎市で開催を予定しています。



トマトのサラダ



岡野沙織氏の講演



市町村ブースの様子

稲敷市の宮本静男さん ふくまるグランプリ最優秀賞受賞！

2月9日、茨城県産米銘柄化協議会による「ふくまるグランプリ表彰式」が、小美玉市四季文化会館で開催され、稲敷市の宮本静男さんが最優秀賞（茨城県知事賞）を受賞しました。

その他、優秀賞に栗山康さん（稲敷市）、鈴木行雄さん（河内町）、優良賞に宇佐美昌昭さん（稲敷市）、栗山榮さん（同）が選ばれました。

受賞者10名のうちの5名を稲敷市と河内町の方が占める結果となり、管内生産者の技術レベルの高さが伺われます。



稲敷地域青年農業士会が 先進地視察研修を行いました

2月6～7日、稲敷地域青年農業士会は先進地視察研修を行い、管内の青年農業士や元青年農業士計11名が参加しました。

今回は長野県東御市の永井農場を訪れ、代表取締役の永井進氏から農業経営の様子や6次産業化の取組について話を聞き、その後、加工施設や牛舎、ライスセンター、直売所を見学しました。この他、

ニプロ松山株式会社の工場見学なども行い、非常に有意義な視察研修となりました。



27年度農作業の死亡事故338件、ここ数年高止まり !!

平成27年度全国で起こった農作業死亡事故件数が338件となりました。ここ数年、毎年350人前後の方が作業中に亡くなっています。

春の作業が本格化する4月から5月は、特に事故が多くなっています。事故を未然に防止するため、事故の起こりやすい状況を知り、改めて日頃の機械の運転や操作などの安全確認を徹底することが大切です。

機械操作の基本を守る、無理な作業は行わない、体調管理や適度な休憩を取りうっかりミスを起こさないなど、事故防止に取り組んでください。

【事故の傾向】

- ・ 65歳以上の方の割合が8割を超え、高齢者事故の多発傾向が続いています。
- ・ 事故発生の6割がトラクター等農業機械の運転、操作中に起こっています。

【対策～事前の対策をしっかり・無理をしない】

乗用トラクターでは「転倒・転落」の事故が最も多く、そのほか「走行中の交通事故、挟まれ」が続きます。歩行型トラクターや農用運搬車でも「転倒・転落」による死亡が多くなります。

- ①ヘルメット、安全靴等の保護具の着用
- ②事前に作業現場の傾斜、側溝、段差、障害物などを確認
- ③作業中は背後に注意
- ④ブレーキがけの徹底、作業中断時はエンジン停止

慣れた作業でも油断せず、もう一度安全確認を徹底しましょう。



★農業機械研修に参加しませんか★

県立農業大学校では、毎年「農業機械研修」を開催しています。

農作業安全や基本的な機械操作から農業機械士技能認定など、幅広い講習内容となっています。

農作業事故防止に向け、是非ご参加ください。(詳細は普及センターまでお問合せください。)

⚠️ イネ縞葉枯病に注意しましょう ⚠️

イネ縞葉枯病は、ヒメトビウンカが媒介する病気です。ウイルス病なので発病後の治療はできません。感染は、保毒した(ウイルスを持った)ウンカに吸汁されたイネを、未感染のウンカが吸うことで保毒し、これを繰り返して拡大していきます。下記を参考に防除を行いましょう。

【耕種的防除】

- ・ 抵抗性品種の作付け
- ・ 早期の秋季耕起 → ひこばえが感染源となる為。
- ・ 畦畔の除草 → イネ科雑草が越冬場所となる為。

【化学的防除】

- ・ 育苗箱施薬による防除 → 6月上～中旬、ウンカが水田に飛来する為。
- ・ 本田での防除 → 6月下旬～7月中旬、幼虫が発生する為。

稲敷普及センター管内でも発生は増えています。これからできることとして、残効性の高い育苗箱施薬を検討してください。気になる症状がある場合や薬剤が分からない時は普及センターまでご連絡ください。

葉に縞状の斑紋が出て、葉先がこより状に垂れ下がり枯死します(特に分けつ期)。出穂期は穂が出すくみになります。



農総セ 農業研究所提供

平成29年度 農業学園のお知らせ

稲敷普及センターでは新規就農者の栽培技術の向上と同世代の仲間づくりのため、農業学園を開催しています。

今年度は水稻、野菜の栽培技術講座、農業機械のメンテナンス講座、農業資材EXPO視察研修、土づくり講座などを行いました。今後も、受講生の希望に沿いながら、講座の内容を考えていきます。**受講を希望される方は普及センター(Tel:029-892-2934)までご連絡ください。**

